

宮崎大学での30年の研究・教育の記録

—— 学会・シンポジウム講演を中心として ——

2013年3月

宮崎大学農学部

山村 善洋

緒 言

宮崎大学に昭和58年3月に着任し、この3月で丁度30年になる。

着任した当日が、丁度木花新キャンパスの起工式の日であった。そのことは後日知ったことであるが、3学部の中で農学部が先発で、当時の農業工学科の移転は翌年昭和59年10月であったと記憶する。

この移転前後の4～5年は教育も研究も不自由で不十分な環境で進行していた。移転当初の新キャンパス敷地には草も生えておらず、雨の季節には泥濘み、冬の乾燥季には西からの季節風（霧島風）で大変な砂埃に見舞われた。この間は、実験圃場には水道も電気も来ていなかった。そのことが、今考えると寧ろ不思議な気すらする。

処で、退職するに当たり、何らかの形で記録めいたものを残そうと色々と思案し、最近のデータを追加して新たに記録を作成しようと考え努力したが、それは無理だと判断するのに時間を要し、結局時間の浪費に終わった。この件は退職後の仕事とした。

そこで、兎も角これまでの30年間に学会・シンポジウムで発表したものに限って纏める事を考えた。その結果がこの冊子である。大学での研究には当然のことながら、学生の教育と大きく関連する。従って、この冊子の中にも学部学生、大学院生が発表したものも含まれている。

内容は灌漑、水・気象・環境、気象災害等広範・多岐に亘っているが、これを纏めてみて、改めて昔、こんなことも考え、こんなこともやっていたんだと自分で感激する内容も多々あった。今では陳腐なものも、昔は最先端のものであった。未だに解決していないものもある。退職するに当たり、自分史として意義のあることとなったが、この冊子を目に触れられた方にとって何かの参考になることがあれば幸甚である。

以下、最初に年次順に並べた一覧表を示し、本冊子の目次とする。

著者記す 2013.3.7

農土全(開催地) 農業土木学会大会講演会 全国大会
 農土支(開催地) 農業土木学会大会講演会 支部大会
 農気全(開催地) 日本農業気象学会 全国大会
 農気支(開催地) 日本農業気象学会 支部大会
 ㊦山村 連名で山村発表
 ㊧ 連名で学生等発表

学会講演会・シンポジウム等での口頭発表一覧 (発表頁)

発表年月の下の数字は講演集等掲載頁

No.	題 目	学会名(開催地)	発表年月	発表者	本誌頁
1	日射量データに見る気候特性と干害との関係について — (1)宮崎 —	農土全(仙台)	1984.8 120-121	㊦山村	2
2	日射量データに見る気候特性と干害との関係について — (2)宮崎と鳥取の比較 —	農気支(鳥取)	1984.12 29-32	㊦山村	4
3	土壌水分動態を考慮した消費水量推定法について — 土壌水分減少法に準拠して —	農土支(佐賀)	1985.10 173-174	山村	8
4	土壌水分動態を考慮した消費水量推定法について(2) — 土壌水分減少法に準拠して —	農土全(京都)	1986.8 210-211	㊦山村	10
5	日射量法による蒸発散量について	農土支(那覇)	1986.11 241-244	㊦山村	12
6	土壌水分動態を考慮した実証的消費水量推定法について(3) — 南九州におけるクロボク土を例として —	農土全 (鹿児島)	1987.8 176-177	㊦山村	16
7	気象特性と蒸発散(I)	農業土木学会 九州支部シンポ ジウム(福岡)	1989.7 1-14	山村	18
8	葉温データによる灌漑時期判定に関する研究(1)	農土全(東京)	1989.7 162-163	山村	32
9	灌漑時期の判定 — 水分ストレスと作物体内水分ポテンシャル および葉温の観点から —	農土全(高知)	1991.7 150-151	山村	34
10	灌漑時期の判定(3)	農土支(宮崎)	1991.11 235-236	山村	36
11	宮崎の気象特性と灌漑	農気支(宮崎)	1992.11 29-30	山村	38
12	植被地表面の温度分布とその変動要因 — リモートセンシング温度データに関する基礎研究 —	農土支(那覇)	1993.11 67-68	山村	40
13	灌漑時期の判定(4) — 水分ストレスと葉温の観点から —	農土全(金沢)	1994.7 562-563	山村	42
14	圃場整備・水利事業に伴う土地利用形態の変遷と環境変化	農業土木学会 九州支部シンポ ジウム(宮崎)	1994.9 39-45	山村	44
15	土地利用形態の変化と気象環境変化	農気支(筑紫 野) 37-38	1994.11 37-38	山村	52
16	都城盆地の水環境と気象環境	農土全(宮崎)	1995.7 190-191	山村	54
17	降雨の有効利用について	農気支(唐津)	1995.11 29-30	山村	56

No.	題 目	学会名(開催地)	発表年月	発表者	本誌頁
18	農業水利事業完了後の水利用の実態解析 — 一ツ瀬川地区の場合 —	農土全(山形)	1996.6 292-293	山村	58
19	宮崎の気象特性(1)風向・風速 — 宮崎大学気象観測データに基づいて —	農気支(島原)	1996.11 25-28	山村	60
20	ハウスにおける水利用実態 — 宮崎市ハウスメロン栽培農家の場合 —	農土全(藤沢)	1997.7 262-263	㊦山村	64
21	国東半島地域の水資源・水文環境と課題	農土支(別府)	1997.10 75-78	山村	66
22	南九州地域の畑地かんがい事業完了地区の水利用の実態	農土全(東京)	1999.8 224-225	山村	70
23	条件不利地域 今・昔	農土支(宮崎)	1999.10 1-2	山村	72
24	宮崎の降雨特性について	農気支(鹿児島)	1999.11 25-26	㊦山村	74
25	地下水位変動に及ぼす降雨の影響について — 宮崎大学内附属農場の場合 —	農土全(鳥取)	2000.8 326-327	㊦	76
26	宮崎の降雨特性について	農気全(宮崎)	2000.8 60-61	山村	78
27	宮崎の降雨特性と災害	農土支(佐賀)	2000.10 39-42	山村	80
28	宮崎の干ばつについて	農土支(鹿児島)	2001.10 23-26	㊦	84
29	地下水位変動に及ぼす降雨の影響について(2) — 宮崎大学内附属農場の場合 —	農土支(鹿児島)	2001.10 27-30	㊦	88
30	ポテンシャル蒸発散量と水分ストレス条件下における蒸発散量	農土支(鹿児島)	2001.10 31-34	㊦	92
31	用水機場管理の現状と課題	農業土木学会 九州支部講習会 (福岡)	2001.11 99-112	山村	96
32	日最低気温と茶の防霜 — 宮崎県総合農業試験場茶業支場 気象データ解析に基づいて —	農気支(高鍋)	2001.11 21-22	㊦山村	110
33	2001年10月16日宮崎市南部地域集中豪雨について — AMEDAS 宮崎・青島・鰐塚雨量と木花雨量(宮崎大学) —	農気支(高鍋)	2001.11 45-46	㊦	112
34	地中温度と降雨の関係について	農土支(福岡)	2002.10 261-264	㊦	114
35	降雨に伴う地下水位変動と土壌水分変動	農土支(別府)	2003.10 7-10	㊦	118
36	降雨に伴う地下水位変動と土壌水分変動 (2)	農土支(熊本)	2004.10 26-29	㊦	122
37	宮崎県高冷地における夏秋いちご栽培	農土支(宮崎)	2006.10 98-101	山村	126
38	宮崎大学圃場における風向・風速特性	農気支(長崎)	2012.11 40-43	山村	130